

大阪国際サイエンスクラブ

【国際交流懇談会】

第4回 若手研究者の国際研究交流から世界のサイエンス動向を知るセミナー

「タイにおける巨大淡水魚の生態研究～水産資源を守り、人々の暮らしを支えるために～」

International  
Science Club  
of Osaka

SDGs 17の目標で「海や陸の豊かさを守る」ことが掲げられたように、「資源の持続可能な管理」は世界中の人々が取り組むべき課題として認識されています。東南アジアを流れるメコン川は、世界でも有数の巨大淡水魚の生息地でもあります。メコン川の巨大淡水魚は、タイなどのメコン川流域国で、人々の貴重なタンパク源として古くから利用され、暮らしと密接に関わってきました。しかし、乱獲や河川開発の影響を受けて、巨大淡水魚の数は激減しています。

種の保全と食料供給の両立を目指すものの、基礎的な生態が明らかになっていないことが、巨大淡水魚の資源管理において障壁となっています。今回ご講演頂く目戸さんは、タイで巨大淡水魚2種（メコンオオナマズとカイヤン）の生態を調べることに、ならびに魚類の生態研究の普及を目標に、ご研究に取り組んでこられました。

今回の講演では、ご自身の研究内容だけでなく、留学中のエピソードを交えながら、タイ国の水産業や研究環境についてもご紹介して頂きます。

なお、新型コロナの感染状況を鑑み、オンラインでの講演会とさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

## 記

1. 日 時：2022年10月7日（金）17:00～18:30
2. 場 所：Zoomによるオンライン講演
3. 講 師：目戸 綾乃 様（京都大学大学院情報学研究科 博士後期課程3年）
4. テー マ：「タイにおける巨大淡水魚の生態研究～水産資源を守り、人々の暮らしを支えるために～」
5. 参加費：無料
6. 申込み方法：申込書欄に必要事項をご記入の上、e-mail または FAX でお申し込み下さい。

## 目戸 綾乃 さまのご紹介

メコンオオナマズの研究に憧れ、2018年に京都大学へ入学。  
以降、タイをフィールドに大型のナマズ（メコンオオナマズとカイヤン）の生態研究に取り組む。  
2022年には日本学術振興会の支援を受けて、半年間のタイ留学を経験。  
タイ原子力研究所、カセサート大学、タイ国水産局の協力を得て、フィールドワークや分析を進めている。  
タイでナマズの研究に取り組む傍ら、日本国内ではスズキやニホンウナギの生態研究にも携わっている。



**e-mail : science@isco.gr.jp**

または、FAX:06-6441-0459 大阪国際サイエンスクラブ事務局 宛

**【国際交流懇談会】**

**第4回 若手研究者の国際研究交流から世界のサイエンス動向を知るセミナー**

**「タイにおける巨大淡水魚の生態研究～水産資源を守り、人々の暮らしを支えるために～」**

氏名・団体名：		
所在地：〒		
TEL：（     ）     —     FAX：（     ）     —		
e-mail：		
氏 名	所 属 ・ 役 職	e-mail

※ご連絡頂いた個人情報は、本事業のご案内及び当クラブに関連する講演会・見学会等のご案内以外には使用致しません。